

# ラポール通信

～ 平成20年11月号 ～

発行元 篤志館株式会社

〒357-0045 飯能市笠縫 328

TEL:042-983-6650 FAX:042-983-6651

E-mail: tokushi@hanno.jp

URL: http://www.tokushikan.com

篤志館では今年の夏も地元飯能市にある駿河台大学より、2名の学生をインターンシップとして受け入れました。日頃若さとは無縁の職場に？若さ溢れる2人との10日間は、良い刺激を与えてくれました。実習期間の最終日に二人に書いていただいたレポートを、今回のラポール通信ではご紹介したいと思います。

表紙を飾りますのは駿河台大学経済学部3年生の加藤弘規君です。そして裏表紙には同じく駿河台大学現代文化学部3年生の臼井瑞紀さんです。現役大学生の二人のレポートをぜひご一読ください。



駿河台大学経済学部3年の加藤弘規です。

今年の夏休みは休みを返上してインターンシップに取り組みました。将来は経営に関わる仕事が出来ればと思っています。

## 1. インターンシップを通じて得たこと

社会人として働くことをイメージしたい。というのがインターンシップに参加した最大の理由でした。インターンシップ体験では、様々な業界のことを知り、自分の長所・短所も把握できました。失敗や反省点もありました。働くとはどういうことなのか身をもって経験することで、就職への不安が薄れ、参加前より働くことへの情熱が湧きました。

その中でも、自分が社会とどのようにかかわっていきたいか、社会へ何がしたいのかというビジョンを持つことが、仕事をするうえで大切だと感じました。これはインターンシップを体験してみなければ分らなかったと思います。私にはまだ具体的にしたい事がないので、そこに一步近づけるよう、残された学業や就職活動に取り組んでいきたいです。

## 2. 私が働きたい会社

2つあります。1つは経営者が会社と社員のことを考えている会社です。具体的には、経営理念と実際に行っていることが一致している。法的、倫理的責任を果たしている。自社について様々なことを内部に公開している。労働組合や人事制度がしっかりしている。といったことです。もう1つは、社員全体が会社のことを考えている会社です。具体的には、全体の貢献意欲が強く、活気がある職場です。

豊富な経営資源があり、財政基盤が安定している、ということも大きな魅力だと思いますが、私は先に上述した2つを持っている会社で働きたいです。会社と社員が互いに尊重し合っている会社なら結果はついてくると思いますし、努力や満足の源となると思うからです。